

なかの



# 市議会だより

5月号

平成19年5月7日発行  
No.8

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●E-メール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



信濃グランセローズ 4月1日キャンプイン（中野市営野球場）

市政一般質問	陳情 3件	請願・陳情	意見書案 2件	事件案 7件	22件	予算案 2件	13件	議案件数及び議決内容	会期 18日間	閉会 3月23日	開会 3月6日
31件	不採択		可決	可決	可決	承認	可決				

3月定例会



## 下水道事業の健全経営 について

山岸 國廣

**質問** 水洗化率の向上策は。  
**答弁** 上下水道フェスティバルや広報なかのを通じて水洗化の啓発に努めるとともに職員が各家庭を訪問して水洗化を呼びかけている。  
**質問** 滞納の解消策は。  
**答弁** 下水道使用料は水道料金と併せて徴収しているため、給水停止の措置を行いつつながら収納に努めている。  
**質問** 汚水処理原価と使用料回収率についてはどうか。  
**答弁** 公共下水道事業の処理原価は425円50銭で、使用料回収率は45・5％であり、農業集落排水事業の処理原価は603円70銭で、使用料回収率は30・4％である。  
**質問** 県下の地方公営企業法適用事業者の現状と本市の法適用目標はどうか。  
**答弁** 長野市など7市1町1村で、本市の法適用は概ね10年後を目標としている。



## 地域情報基盤整備について

中島 毅

**質問** 中野地域の光ファイバ伝送路を整備する、地域情報基盤整備事業の計画では、既存の団体、施設等の統廃合はどうなるのか。  
**答弁** それぞれの団体が整備に対し理念を共有し、連携を密にして一体的な整備ができるよう計画している。  
**質問** 現在のアナログ放送は、2011年に終了するが、今使っているテレビで引き続きデジタル放送を観るにはどうすればよいのか。  
**答弁** STBチューナーをテレビに取り付ければ、今使っているテレビでデジタル放送を見ることができ。  
**質問** ケーブルテレビの使用料はいくら位の予定か。  
**答弁** 情報基盤を整備することから、可能な限り格安な料金で多くの市民の皆さんに利用いただけるよう、今後検討していきたい。

(注)  
STBとはセットトップボックス(Set Top Box)の略で、デジタル放送信号等を受信して、一般のテレビで視聴可能な信号に変換する装置。名称の由来は、ブラウン管テレビが主流の時代にテレビの上に設置することが多かったことに因る。ケーブルテレビ会社では、アナログ放送用を、ホームターミナル、デジタル放送用をセットトップボックスとして呼び分けていることが多い。



## 「文化が香る元気なまち」 にふさわしいまつりに ついて

深尾 智計

**質問** 大灯籠びな作成過程の視察と激励を。  
**答弁** 他の祭りとの関係も考慮しながら対応したい。  
**質問** 各種祭りへの信濃グランドセローズ選手の参加を。  
**答弁** 可能な限り参加を球団へお願いしていきたい。

**質問** 高梨氏館跡の国史跡指定記念行事を。  
**答弁** 市では5月中旬に講演会を予定している。地元の実行委員会でも記念の催しを予定している。  
**質問** ショーンショーンまつりの仮装連に対しての感想は。  
**答弁** 近年は学級活動として参加する連が多く趣向を凝らした連が多くなった。  
**質問** 踊り連の渋滞等の対処についてはどうか。  
**答弁** 本部長、審査委員席前で渋滞傾向が見られるため各所に指導員を配置する。  
**質問** 七夕まつりに市として協力、応援を願いたい。  
**答弁** 市の職員や保育園でも、竹飾り等で支援する。  
**質問** 祇園祭、ショーンショーンまつり、七夕まつりの開催時期についてはどうか。  
**答弁** 長年の伝統があり、今年も例年通りに行く。  
**質問** えびす講の産業展に合わせて企業説明会開催を。  
**答弁** 出展企業の意向も聞きながら研究する。  
**質問** えびす講での市民参加型の花火の復活を。  
**答弁** 楽しみにしている方もいるので、主催者側で検討して欲しい旨を伝える。  
**質問** 学校教育の中で、地域の伝統行事を生徒・児童

## 将来に伝承したい貴重な 伝統行事について

へ伝承する教育方法はどのようなものか。  
**答弁** 社会科の副読本を活用し、郷土の歴史や文化を学習し、ふるさとを大切にすることを育成する。





## ごみの分別と処理手数料有料化の具体化について

野口 美鈴

**質問** 本議会に、ごみ袋へ処理手数料を上乗せして有料化する条例案が提出されたが、昨年のごみ減量化説明会で出た意見をどう集約し、施策に反映されたか。

**答弁** 主な意見は「広報なかの」2月号に掲載したが、出た意見を踏まえ環境審議会に諮問し、答申を頂いた。可燃ごみ週2回の収集確保と今後もごみ分別の周知徹底を求める意見には申し込みによる説明会を実施する。  
**質問** 分別減量化には賛成

だが有料化は時期尚早または反対という意見、低所得者や高齢者等の弱者対策の意見等、なぜ広報に掲載もせず、すべての意見の公表を拒むのか。出された意見はどのように検討されたか。  
**答弁** 広報へは意見を集約し掲載した。有料化がごみの分別減量化に大変効果的と市民の理解を求めてきた。弱者対策等は今後検討する。  
**質問** 意見が施策に反映されてはじめて市政を身近に感じることができ、有料化

決定前に説明した価値が出る。弱者対策等検討してからスタートすべきだ。有料化が減量化に効果的なのは実施直後だけで、数年後には増加に転じ、不適切排出や不法投棄が増えると国も認めている。申し込みを待つではなく、「決定後説明に来る」と説明会で話した以上、より細かな説明会等を開き、環境問題等からごみ減量化の根本的理解が得られるよう努力すべきだ。  
**答弁** 引き続き地区単位の説明会や各種団体の申し込みによる説明会を実施し、より多くの市民の理解が得られるよう、各区の衛生役員にも協力をお願いしたい。

## 「交通弱者」対策について

**質問** 昨年9月に発足した交通弱者対策検討委員会の経過と今後の方向は。要望の出ている区長会からの委員がなげないのか。また、この会議は公開にするのか。  
**答弁** 東御市への視察を含め5回の会議を行い、平成19年度中に試行したい。委員は関係団体に構成しており、試行時には関係区長も入って頂く。会議の公開については委員会で議論する。

## 山を枯らす「カツラマルカイガラムシ」の拡大防除対策について

**質問** ふ化幼虫が6〜9月にかけて枝を移動し繁殖するため、防除方法の周知徹底と居住地周辺森林の枯木の伐採支援はできないか。  
**答弁** 高社山麓の科野、倭地区、東山山腹、北永江区内の山林に被害が確認されている。拡大防止のためチラシを全戸配布し、伐採支援は調査をし県と協議する。  
そのほかの質問  
乳幼児医療費の無料化の拡大について  
「子どもの権利条約」について



## ふるさとの森文化公園を中心とした活性化について

沢田 一男

**質問** 文化公園の観光施策をどのように考えているか。  
**答弁** 浜津ヶ池を含め、既存施設を有機的に結び活性化を図るため、一帯の総合的な整備を計画している。  
**質問** 誘客に対する具体的

な取組についての考えは。  
**答弁** 馬場があるので、池を周遊する馬車の運行等、馬と触れ合える公園にしたい。また、バラまつりとセットで楽しめるよう一体化していければと考えている。

**質問** 近くに室内運動施設も整備されることから、簡易なバツティングセンター等の遊具の設置、野外で子どもが触れ合える小動物園の設置を考えてはどうか。  
**答弁** 活性化策を検討委員会でも研究してきたが、具現化するため新たに文化公園整備推進室を設け、総合的に整備をしていきたい。

## 市街地周辺の地域活性化計画について

**質問** 国道292号線沿いは利用が進み、商業エリアが形成されている。新幹線飯山駅（仮）壁田笠倉橋の実現で、人の流れや動線が変わり、事業者の進出が予想される一方、未利用地や遊休荒廃農地もあり、それらの活用策が必要と思うがどうか。  
**答弁** 地理的にも交通の要衝で、本市の商業流通エリアとして大きなウエイトを占めている。策定した総合

計画の中で産業誘致プロジェクトを掲げており、企業誘致等を考えていきたい。  
**質問** 地域経済の活性化、雇用の創出が見込める重要な経済エリアである。沿線の土地利用計画はどうか。  
**答弁** 中野平地域は、複合的な機能を有する地域であり、特色を生かした適正な沿道土地利用を図り、経済の活性化を促進していく。

平成19年度事業について



金子 芳郎

**質問** 文化施設の整備についてどう考えるか。

**答弁** 現市民会館の老朽化等の問題や財政負担等を判断し、現在の市民会館の場所に再整備したい。

**質問** 工事期間と、工事金額の見込みはどうか。

**答弁** 平成21年度に設計の予算を計上し、22、23年度の2か年で建設したい。工事金額は概ね30億円を見込んでいる。

**質問** 現在よりも大きな駐車場が必要と思うがどうか。

**答弁** 少なくとも現在の駐車場スペース以上となるようこれから考えていきたい。

**質問** 地域情報基盤整備事業に今年度予算を計上されたが、事業内容は。また市民に理解は得られているか。

**答弁** 超高速インターネットに対応できる通信環境を全市に整備し、合併による地域情報格差を是正し、行政情報の一体的な提供を行えるよう有線テレビや音声告知設備の一元的整備を図る。多くの市民に理解いただき、加入いただけるよう事業推進の組織を立ち上げ普及促進を図りたい。

**質問** 平成17年度末市債残高556億円の返済予定と、文化施設、地域情報基盤整備等の事業費49億円の予定は。

**答弁** 平成22年度末で起債残高は約438億円でその後毎年減少すると予測している。整備等事業費については、まちづくり交付金と合併特例債を利用したい。

**質問** まちづくり交付金と

の見過しはどうか。  
**答弁** 現在、個人383、法人66の経営体が認定を受けており、有利な支援策があることから一層の取得推進をしていきたい。

農業政策について



高木 尚史

**質問** 新たな米の生産調整となる、米政策改革推進対策についての対応はどうか。

**答弁** 過去3年間生産目標数量の達成と地域の実情を踏まえた取り組みをしてきたが、今後3年間もほぼ同様な施策がとられ、引き続き取り組んでいきたい。

**質問** 農業者と地域住民等が共同して組織をつくり、農地と水や環境保全向上の

計画を策定し、実行する政策のための対応はどうか。

**答弁** 新たな施策であり、地域住民が協力して環境にやさしい農業に取り組み場合に交付金が受けられる制度で、説明会を開催し制度について理解していただく。

**質問** 認定農業者の高齢化と、融資制度を受けるための認定農業者も一部にあると言われるが、現状と今後

はどのような交付金か。

**答弁** 国が新たに導入した制度で、対象事業の約4割が補助されるものである。

**質問** 新たな事業として、平成19年度から産業誘致事業に取り組まれるが内容は。

**答弁** 市の財政状況が厳しさを増す中で、地域の個性を生かした自主的な取組が必要であり、企業誘致・産業立地の促進を図るために進めるプロジェクトである。

**入札制度について**

**質問** 新年度も指名競争入札を行うのか。一般競争入札を導入する考えはないか。

**質問** 定率減税廃止などの税制改革と市の集中改革プランによる影響額はどうか。

**答弁** 定率減税廃止により7千700万円の増、比例税率への移行で3億4千万円の増。使用料等の見直しで1千200万円、下水道等使用料の統一で4千100万円の増。

**質問** 日本一の生産量の巨峰、えのき苜など中野ブランドとして売り出す地域団体商標制度の活用はどうか。

**答弁** 研究、検討したい。  
**中期財政計画について**  
**質問** 実施計画等による新たな投資額はどうか。

**答弁** 市内業者優先の基本姿勢は今後も変えない考えである。入札における公平公正の基本理念のもと、適正な入札制度の推進に一層意を用いていきたい。

**質問** 小規模工事の指名業者選定などは公正、公平になるよう執行されているか。

**答弁** 各部署で発注している、50万円未満の小規模工事と100万円未満の緊急的小規模修繕工事については内規に基づき所管課長が適正に、公平に執行している。

**そのほかの質問**

**農業施策について**  
の普通建設事業のうち単独分が約15億円、補助分が約2億円。今後4年間で年平均16億円強と見込んでいる。

**質問** 起債(借金)残高と基金(貯金)の見込みはどうか。  
**答弁** 普通会計ベースの起債残高は平成17年度決算で約219億9千万円、23年度には約176億9千万円の見込み。基金残高は17年度決算で約57億5千万円、23年度末には約32億円と見込んでいる。

**質問** 金利5%以上の起債について繰り上げ償還した場合の軽減額はどうか。

**答弁** 53億円償還すると約17億円の軽減となる見込み。



平成19年度当初予算案に  
関連して

佐藤 恒夫

**質問** 当初予算案の編成に当たり、最も配慮したこと何か。

**答弁** 厳しい財政環境を考慮して、更なる経常経費の縮減、人件費の抑制を行う一方、新たな受益者負担の増加もお願いし、次世代に過度な負担をかけないよう配慮する中で、地域、市民に元氣・勇気を出していた

いただきたいの思いを込めて前期基本計画に沿った予算

の配分を行った。

**質問** まちづくり交付金に係る「都市再生整備計画」の具体的な内容は。

**答弁** 中心市街地を中心とし、地域情報基盤整備事業の伝送路整備区域を含めた約千ヘクタールを計画区域としている。計画の目標は「北信州の中心都市としてにぎわいと誇りにあふれる都市の再生」を主眼に掲げ「市街地の魅力を高め、人

々が集い交流し、にぎわいあふれるまちをつくる」。「防災・防犯対策を高めるとともに、高齢者等の生活にやさしい安全・安心なまちをつくる」。

「交通環境の良い市街地のまちをつくる」の3点を目標とした。

**質問** 総事業費と市の一般財源はどのくらいの額、率となる見通しか。

**答弁** 計画全体の事業費は5年間で約49億円を計上し、市の一般財源は約12億5千万円、25・5%の見込みである。

**質問** 市役所本庁舎の耐震強度はどの程度か。

「食育」の問題について

**質問** 「食育推進計画」策定について市の考えは。

**答弁** 市としても食育は健康づくりの3大要素として重要視しており、家庭、事業所、保育園などで様々な取り組みを行っているが、体系的、計画的に推進していく上でも食育推進計画の

策定は重要なことと考えている。今後、国、県等の計画との調整をとりながら計画策定に努めていきたいと考えている。

**質問** 学校給食における地元食材の使用割合は。

**答弁** 給食用食材の購入については、地元産、県内産国産、輸入品の順に購入することを基本としており、平成17年度における根菜類等11品目の市内産使用割合は南部学校給食センターで23・3%、豊田学校給食センターで16・2%である。

そのほかの質問  
**歳計現金の運用について**



道路沿道環境整備について

竹内 知雄

**質問** 道路沿い空地の花畑、花壇に手入れ等の行き届いていない状況があるが。

**答弁** ボランティア団体、自治会及び企業等の皆様にご協力をいただき、花のまちづくり推進事業に取り組

んでいる。その輪が年々広がっているが、残念ながら中には管理等の活動を止めてしまい、せっかく植えた花苗の手入れが行き届かな

い花壇なども出てきている状況にある。

**質問** ボランティア団体等に、管理意欲が出るような施策の考えはあるか。

**答弁** 中野市景観賞の中に花づくり緑化部門を設け、花壇整備団体等に対し、表彰している。また、情報の提供や新たな取組みに向け努力していきたい。

**地域担当職員制について**  
**質問** 行政経費の削減と住民との対話促進のために、月に一度位、職員で地域の分担を決め、急がない市からの配付物を勤務時間外に市民へ配達することを通じて自分の住む地域の方との連携・連帯を深める、地域職員制を導入してはどうか

**答弁** 現在、市からの文書等は、嘱託職員により、毎週月曜日と木曜日に比較的安い経費で配達している。職員へは、日頃から積極的に地域行事等へ参加をし、市民の皆さんの声を聞くよ

信濃グランセローズについて

**質問** 公式練習グラウンドに決まったが、全市へのPRが足りないと思うがどうか

**答弁** 市民、企業からの、ぼり旗を作成し、街頭へ設置したいとが、各種用具の

提供とか、球場で手打ちそばを振舞いたいといった申し出があり、市民も関心を寄せていると思う。  
**質問** 選手たちは温泉に行ったり、食堂に行ったり、観光もする。道路沿道、玄関、室内などにポスターなどを貼り、歓迎のPRをすれば、選手たちの励みにもなり、また、全市民に支えられていると感じると思う。全市民が応援団の一員となれるような応援をしたいがどうか



障害者にやさしいまちづくりについて

町田 博文

**質問** 市役所、保健センター、中央公民館、勤福センターで、車イスの方が改善を要望されていることを種々述べたが、これをどのよう to 受け止めているか。  
**答弁** 高額な費用を要し改善することが困難な施設もあるが、可能なところから整備に努めていきたい。その間、不便をおかけするがそれまでは職員がお手伝いするなどの対応をしていくので、声をかけてほしい。

が、利用者の利便性を考慮しながら、今後、検討していきたい。  
**質問** 障害者用の各種マーク（例えば内部障害者を示すハート・プラスマーク、妊産婦を示すマタニティマークなど）を表示した看板の設置ができないか。  
**答弁** 障害者等の駐車スペースには、見やすい表示が不可欠であることから、各種マークの看板設置も含め利便性が図られるよう検討していきたい。  
**質問** 視覚障害者のため、公的窓口に活字文書読み上げ装置設置を推進できないか。

**答弁** 県補助があることから、平成19年度において、設置場所や機種について検討していきたい。  
**質問** 職員の接遇の向上に努められたい。  
**答弁** 職員の資質向上を図りながら、相手の立場に立った親切な対応に努めていきたい。  
**財政運営の諸課題について**  
**質問** 平成19年度から、国の方針として、一定の条件を満たせば、補償金なしで繰上償還ができるようになった。高金利のものはでき

るだけ繰上償還すべきではないか。また、その財政効果をどのようにみるか。  
**答弁** 財政の健全化を進めるためにも積極的に取り組んでいきたい。仮に、金利5%以上の地方債のすべてを繰上償還した場合、約17億円の負担減になる。また、地方債のすべてについて、金利2.5%で借り換えた場合、単年度で約1億9千万円の負担減が見込まれる。  
 そのほかの質問  
**妊婦無料健診の拡充ほか子育て支援について**  
**学校図書の実践について**



地域の「命綱」として北信総合病院夜間救急医療体制保持・充実が果たせるよう支援を図るべきではないか

青木 豊一

**質問** 整形外科病棟廃止は救急医療に重大な影響を与える。市長・運営委員長の職責において緊急事態克服の決意を具体的に伺いたい。

**答弁** 整形外科の夜間等の救急体制は4月以後出来ず、近隣病院に搬送すると聞く。市長・運営委員長として一日も早く事態解消に努める。

**質問** 整形常勤医師が不在では分秒で生死を分ける患者の手当てが遅れる。住民の生命を守る対応はどうか。  
**答弁** 今後も病院と連携し医師確保に取り組んで行く。  
**質問** 飯綱病院ではIPを通じて地域医療に係るメッセージを発信し、医師募集を行い7人が応募し4人の医師を確保した。市のHPでもメッセージを発信したらどうか。また、医師・看護師確保や地域の要望に応えるためにも北信総合病院保育所への助成を拡大すべき。

**答弁** 市ではパンフレットを作成し配布した。保育所問題は財政的に困難である。  
**質問** 市長は職責をかけた市民や病院と一層連携協力し緊急事態に対応すべきだ。  
**答弁** 連携を取り対応する。

**2004年なかのイングリッシュガーデン研究視察に対する補助金支出について**  
**質問** 参加者の議会報告には旅行会社の協力で真相解明ができ、事務局が観光旅

行会社に支払った金額と旅行会社が受け取った金額に大きな差が見つかり、視察は当初の参加費の範囲できたと確信すると明記されているが調査はされたか。  
**答弁** 補助金は適正であり、使途調査は現在考えてない。  
**質問** 最初は観光旅行で募集した。補助対象が研究会なら、設立時期や活動が必要だ。調査が当然である。  
**答弁** 市内団体が要綱に沿って行った適正な事業であり、調査等行う考えはない。

## 市内小中学校施設改善及び教育行政について

**質問** 共産党議員団で調査した結果、中野小中学校の洋式トイレの状況は低学年が利用するトイレに洋式が無く臭気と狭隘が問題、正門前の防火貯水槽の改善、高丘小では水洗トイレの水不足問題、両校とも雨漏りの

早急な改善が必要と考える。  
**答弁** 貯水槽は改修を行う洋式トイレ化は、市内全小中学校の改善計画を立て進める。臭気改善のため尿石除去を春休みに行う。高丘小中学校のトイレの水不足問題は早急に改善に努める。  
**質問** 全国学力テストは反対であり中止を求めます。実施する場合は対応はどうか  
**答弁** 実施要領に基づき適

切に実施するよう指導する。  
**質問** 特別支援教育支援員制度の市の対応はどうか。  
**答弁** 人材配置は必要だ。

そのほかの質問事項  
2007年度予算編成と市長の政治姿勢について

(注)  
IPはホームページの略記号です。



## 傍聴席

一時間に時間を区切ったのはとてもよい。

たいへん良い経験になりました。これからは出るだけ傍聴したいと思いました。

初めて傍聴しましたが、時計の針が見づらいため、もっと見やすい時計を設置して頂きたい。

市議会傍聴は大変よい勉強の場です。補足などの説明について、職員の方は自信を持って大きな声でされることを望みます。

議員からの「一般質問」テーマが年次多く、広範囲にとり上げられていること喜ばしいことであるとあります。

更に質問者も同じ人ではなく、考え方もひとりひとり違うのですから、全員が中野市の実態を把握し、質問に立つてほしいと思います。

たくさんの方の傍聴感想文の中から抜粋で載せさせていただきます。議会だより編集委員長

## 総務文教委員会報告

条例案6件、予算案6件、事件案3件、陳情1件を15日、19日に審査しました。

主なものは、条例案では、中野市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例案については、中野市特別職報酬等審議会の答申を受け、市長他常勤特別職の給料月額及び議会の議員等の報酬月額等をそれぞれ7%、3%引き下げたもので、中野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案は、人事院勧告に基づく所要の改正を行うもので、ほかの条例案4件と同様いずれも原案どおり可決されました。予算案では、住宅用地の

固定資産税に係る、課税標準額の軽減措置等の誤りに伴い、固定資産税及び都市計画税について課税誤りがあつたことから、早急に過誤納還付を行う必要があり、既決予算だけでは対応できないことから千九百五十二万九千円を追加した平成18年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分については、原案どおり承認されました。

平成18年度一般会計補正予算(第7号)については、五億二千五百四十万二千円を増額し、予算総額を百八十一億三千二百六十五万三千円とするもので、総務費では一般職退職手当で三億

二千六百六十九万九千円の増、防災情報等音声告知端末機設置工事費で一億五千二百七十七万五千円の増、基金積立金で二億五百五十万円の増、消防費では岳南広域消防組合分担金で一千八百四十八万二千円の減、消防団員退職報償金で五百六十一万五千円の増、教育費では小中学校の学校施設営繕工事費、耐震補強工事費で合わせて九千二百六十三万八千円の増及び地方債補正であり、中野市情報通信施設事業特別会計補正予算(第4号)と同様原案どおり可決されました。

平成19年度中野市一般会計予算については、総額百六十七億三千八百萬円で、議会費一億八千八十六万七千円、総務費関係部分二十億九千五十八万二千円、消防費六億九千八百八十四万四千円、教育費十九億四千五百二十万、公債費二十三億九千三百六十六万三千円及び予備費四千万円であり、ほかの特別会計予算案2件と同様いずれも原案どおり可決されました。

事件案では、長野県市町村自治振興組合規約の変更について、北信広域連合規約の変更について及び岳南広域消防組合規約の変更については、いずれも原案どおり可決されました。

「公共サービスの安易な民間開放に反対し、国民生活の「安心・安全」の確立を求める意見書」提出に関する陳情につきましては、賛成少数で不採択となりました。

## 民生環境委員会報告

条例案4件、予算案10件、事件案2件、陳情2件を、15日、16日に審査しました。主なものは、条例案では、ごみの減量化を推進し、可燃ごみ及び埋立ごみの処理手数料の一部を有料化するための、中野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案、また一般廃棄物の処理手数料について、証紙による収入方法等に関し、必要な規定について制定する中野市一般廃棄物の処理手数料に係る収入証紙に関する条例案については、ほかの条例案

2件と同様いずれも原案どおり可決されました。予算案では、住宅用地の固定資産税に係る、課税標準額の軽減措置等の誤りに伴い、国民健康保険税についても、課税誤りがあったことから、早急に過誤納還付を行う必要があり、既決予算だけでは対応できないことから、事業費組替えの専決処分をした、平成18年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)については、原案どおり承認されました。

計補正予算(第7号)については、民生費では、扶助費等の確定により、福祉医療給付費で千二百六十三万円、児童手当給付金で二千五百六十五万五千円の減、生活保護扶助費で二千六百九十六万四千円の減、衛生費では予防費の予防接種事業費で五百三十八万七千円の減、環境衛生費の環境衛生事業費で環境基本計画策定の委託及び印刷費などで三百二十三万二千円の減などあり、ほかの特別会計補正予算案3件と同様いずれも原案どおり可決されました。

## 市議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。市政を知る良い機会です。みなさん議会の傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくと、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。次の市議会定例会は、6月です。



## 経済建設委員会報告

条例案1件、予算案12件、事件案2件を、15日、16日に審査しました。主なものは、条例案では中野市下水道条例の一部を改正する条例案については、原案どおり可決されました。予算案では、平成18年度中野市一般会計補正予算(第7号)については、商工費では商工振興費で各種

補助金四百六十七万五千円の減、金融対策事業費で制度資金貸付保証料補給金六百万円の減、土木費では都市計画総務費で国の市町村合併推進体制整備補助金を受け、平成19年度への繰越事業として都市計画マスタープラン策定及び基礎調査の業務委託に九百万円の増、都市開発公社への運営資金

貸付金五千万円の減、街路整備事業費で三千八百七十一万二千円の減、災害復旧費で農林水産施設の災害復旧事業費の確定により、九百七十二万九千円の減などであり、ほかの特別会計補正予算案3件及び水道事業会計補正予算案と同様いずれも原案どおり可決されました。

平成19年度中野市一般会計予算については、労働費

関係部分一億四千二百六十六万二千円、民生費四十四億三千六百八十八万六千円、衛生費十五億二百三十五万六千円については、ほかの特別会計予算案4件と同様いずれも原案どおり可決されました。

北信保健衛生施設組合規約の変更について及び長野県民交通災害共済組合規約の変更についての事件案2件についてはいずれも原案どおり可決されました。

陳情では、最低保障年金制度の創立に関する陳情及び長野県後期高齢者医療広域連合に運営協議会を設ける陳情については賛成少数で不採択となりました。

平成19年度中野市一般会計予算については、総務費

八千三百六十六万五千円、商工費五億七千六百七十九万九千円、土木費十八億二千二百九十八万五千円であり、ほかの特別会計予算案5件及び水道事業会計予算案と同様いずれも原案どおり可決されました。

事件案では、市道路線の廃止及び市道路線の認定については、いずれも原案どおり可決されました。

## 意見書

可決された意見書  
(関係行政庁に提出)

## 日豪EPA/FTA交渉に対する意見書

本年から開始するとされている日豪EPA(経済連携協定)/FTA(自由貿易協定)交渉に対し、オーストラリア政府は農産物も含む関税撤廃を強く主張するとみられている。豪州政府の要求通り、農産物の輸入関税が全面的に撤廃されるようなことになれば、政府の試算でも、肉牛、酪農、小麦、砂糖の主要4分野で約8,000億円もの打撃を受け、関連産業や地域経済への影響を含めると、2兆~3兆円規模になるとされている。

また、食料自給は30%台に低下するなど日本の農業と食料は壊滅的な打撃を受けることになり、農林業の多面的機能が失われ、山村の崩壊、国土の荒廃、環境の悪化を招くことになる。さらに、昨年、干ばつに

よって大減産となったようにオーストラリアの農業生産条件は極めて不安定であり、これに安易に依存することは、世界的な食料不足の危機が心配されている中で、日本の食料安全保障を危うくする結果を招きかねない。よって、国においては、

日豪EPA/FTA交渉にあたり、日本農業に多大な影響を与える重要品目(米、小麦、牛肉、乳製品、砂糖など)を交渉から除外するとともに、万一、これらが受け入れられない場合は、交渉を中断すること。

あわせて、農産物貿易交渉は、農業・農村の多面的機能の発揮と国内自給による食料安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルールを確立することを強く要請する。

## 厚生連北信総合病院の医師・看護師確保を求める意見書

新たな臨床研修制度等の影響により、勤務医不足が全国的に大きな社会問題になっている。北信地方事務

所管内の基幹病院として地元中野市はもとより、北信地域住民の生命と健康を守る厚生連北信総合病院も内科医、神経科医及び整形外科医等が不足し、新年度から整形外科病棟を閉鎖せざるを得ない緊急事態になっている。

もし、整形外科病棟閉鎖というような事態になれば、同病院を利用する北信地域住民の生命の安全はもちろん、全国から志賀高原など北信地域へ来るスキー客や観光客へ大きなダメージを与えかねない。

今シーズンも、県外から山ノ内町にきたスキー客が滑落し瀕死の重傷を負い、今なお入院をされているが、幸いにも、救急搬送された厚生連北信総合病院において初期に適切な対応があり、順調に回復してきている。

このように、厚生連北信総合病院の果たす役割は地域住民の生命と健康はもちろん、県内外のスキー客や観光客に安心を提供するなどの重要な役割を果たしている。

こうした大きな役割を持つ厚生連北信総合病院の救急医療体制が24時間行えな

くなるようになったら、地域住民はもとより、県内外の観光客までもが病院探しを余儀なくされ、事故者の生死を左右しかねず、地域や長野県のイメージにも影響しかねない。

また、同病院では医師不足と同時に、看護師不足も心配されている。医療は優れた医師と看護師が協働してこそ、生命を守り、よりよい医療を実現することが出来る。

厚生連北信総合病院及び中野市においても医師及び看護師不足解消に精力的に取り組んでいるところではあるが、病棟閉鎖等のこうした緊急時には、長野県としても適切な指導と尽力が切実に求められている。

よって、中野市議会は、長野県においては県民の健康と医療に責任を負う立場から、厚生連北信総合病院の医師(とりわけ整形外科医)及び看護師不足解消に、早急に対応いただくよう強く求めるものである。



## 陳情

陳情第1号 「公共サービス」の安易な民間開放に反対し、国民生活の「安心・安全」の確立を求める意見書」提出に関する陳情

陳情者 長野県国家公務員労働組合共闘会議  
議長 佐藤 幸男

(長野市鶴賀字中堰145番地)

陳情第2号 最低保障年金制度の創立に関する陳情

陳情者 全日本年金者組合  
長野県本部中高支部  
委員長 稲葉 武治

(中野市大字田上2445番地10)

陳情第3号 長野県後期高齢者医療広域連合に運営協議会を設ける陳情

陳情者 長野県社会保障推進協議会  
代表 東原 進

(長野市鶴賀629番地1)

## 行政視察 報告会

3 常任委員会と議会運営委員会が今年度行った行政視察について、平成19年2月7日(水)市役所の会議室において、報告会を実施しました。

この報告会ではまず、町田総務文教委員長から、平成18年10月18日～19日に、福井県小浜市において行っている「食育について」、「ふるさと文化財の森センター」について、の視察報告がありました。次に、小泉民生環境委員



長からは、平成18年7月25日～26日に、東京都狛江市において行っている「ごみ収集の有料化について」、「ごみの分別収集とリサイクルについて」、「ごみ半減新聞について」及び千葉県成田市において行っている「保健福祉館について」の視察報告がありました。次に、竹内(卯)経済建設委員長からは、平成18年8月22日～23日に、山形県長井市において行っている「レインボープラン(循環型農業)」について、宮城県大崎市において行っている「中心商店街自立型開発事業について」、「食を通じ



てのまちづくりについて」の視察報告がありました。次に、湯本議会運営副委員長(当時)からは、平成18年10月18日～19日に福井県小浜市において行っている「議会運営について」の視察報告がありました。各委員長からの報告の後、視察の内容について各議員から質疑があり、全議員で行政視察の成果を確認しました。



## 議会改革検討委員会

平成18年11月28日に開催した議会全員協議会において、委員会の設置と8名の委員が決定されたことにより、議会改革について検討するため、平成18年12月22日に第1回委員会を開催しました。

委員長には、町田議員を互選したほか、議会改革を行う上で必要な項目の検討等を行いました。

第2回目の委員会は、平成19年1月16日に開催し、地方自治法の改正に伴い、

### 第2代前期議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長	佐藤 恒夫
副委員長	湯本 隆英
委員	町田 博文
"	小泉 俊一
"	竹内卯太郎
"	中島 毅
"	西澤 忠和
"	金子 芳郎
"	野口 美鈴
"	高木 尚史

委員会条例及び会議規則の一部を改正する必要があるため、その検討を行いました。3月定例会に条例及び規則の改正案を提出し、全会一致で可決しました。また、その改正は、平成19年4月1日から施行されております。

今後の検討委員会では、議会改革に必要な項目の洗い出しをもう一度行い、市民に開かれた議会を目指して、議会改革を推進していきます。

## あとがき

平成19年度当初予算案などを審議した3月定例会が終了いたしました。

合併後新たに策定された中野市総合計画のうち、平成23年度までの5年間の具体的な施策を示した前期基本計画の初年度に当たる重要な予算の審議であり、11人の議員が予算編成の方針や財政見通し、当面する課題などについて活発な質問を展開いたしました。

また、当初予算には反映されていませんが、新たな文化施設の建設構想も明らかにされ、今後の議論の大きな焦点の一つとなってくるものと思われまます。

議会といたしまして、今後ともより市民の皆様が目線に立った、真摯な議論と活発な活動を展開して参りますので、皆様のご支援をお願い申し上げます。

また、議会だより編集委員会委員長が交代いたしました。が、今後とも、市民の皆様にはわかりやすく、見やすく、読み易い議会だよりの編集に心がけてまいります。